
決断

M i L

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

決断

【Nコード】

N6708A

【作者名】

M i L

【あらすじ】

初デート前日。頭に浮かぶことは・・・。

俺は今困っている。

明日は18にして初めてのデートの日。

ここまで辿り着くのにどれほどの労力と時間を費やしたことが…。

幼稚園での砂場事件（好きだったのであろうゆみこちゃんに砂をかけて泣かせた）、

小学校でのスカート捲り事件（これまた好きだったであろうマキちゃんのスカーートを捲って学級会が開かれた）と、

誰もが通る畦道を経て、

思春期という獣道へ迷い込んだ。

中学時代、思いっきり女の子を意識してしまった俺は、思いっきり堅物となり、野球に三年間を捧げた。

その間浮いた話ひとつなくギリギリの成績で卒業。

なんとか入学できたのはそれまでの自分とは到底違う世界を生きてきたであろう人種の集う三流高校。

俺は春休みにグローブを捨てた。

代わりに雑誌を買いあさった。

そのためにバイトを始めた。

変わったのは眉毛と懐くらいだったけれど。

高校生活は野球部の練習よりハードだった。

バイト・合コン・合コン・合コン・バイト…。

現実は厳しかった。

坊主がスポ刈りに変わったくらいの俺に、世間はそうそう振り向い

てはくれなかった。

そして1週間前、ようやく髪がなびくようになった俺に、春風がそよいだ。

バイト先に、可愛い女の子が入ってきたのだ。

戦々恐々とする職場で、俺も負けじと彼女にアピールした。

この必死で伸ばした髪を。

そしてとうとう光の差し込まない荒れた道をくぐり抜けた！

長かった。実に長かった。

明日は人生初のデートの日。

眠れない…

どうしたものか。

前日に眠れなかった時どうすればいいかなんて雑誌には書いてなかった。

困った。

俺は無理矢理目を閉じた。

何か白く丸い物が動いていた。

それは三年前に捨てたはずの野球ボールだった。

赤い縫い目がやけに鮮やかだった。

俺は手を伸ばした。

その手は空を掴むことしかできなかった。

遠くで監督の声がした。

かつての仲間の声がした。

どんなに耳をすましても、その声が近づくことはなかった。審判が手を動かしていた。

どんなに目をこらしても、セーフなのかアウトなのかわからなかった。

頭痛がする。

目眩がする。

耳鳴がする。

眠れない。

俺はどうすることもできず途方に暮れた。

（後書き）

m 初投稿です。もしよろしかったら評価お願い致しますm（
—）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6708a/>

決断

2011年10月3日11時01分発行